今金に風力発電計画

設計者など今後選定

レノバと三菱マテリアル

【函館】レノバ（東京都中央区京橋2丁目2の1、木南陽介代表取締役CEO）と三菱マテリアル（東京都千代田区丸の内3丁目2の3、小野直樹執行役社長）は、共同で仮称・今金町住吉宮島風力発電の新設を計画している。総出力は最大11万3400キロワット。2028年5月の着工と30年10月の試験運転開始を経て、31年11月の営業運転開始を目指す。設計者、施工業者は今後選定する。

5日に縦覧開始した計画段階環境配慮書によると、事業実施想定区域は今金町の住吉地区と宮島地区にまたがる964・6ヘクタール。三菱マテリアルが鉱山の坑道の支持に使うために保有している社有林だが、坑木を採取するために保需要がなくなったため、再生可能エネルギーの事業用地として有効活用する。

単機出力4200―6100キロワットの発電機を18―27基配置する。ブレード枚数は3枚で、回転直径は117―164メートル、ハブ高さは84―167メートル、最大高さは143―249メートルとしている。

両社は函館市恵山地区で、大和エナジーインフラ（本社・東京）とともに特別目的会社を立ち上げ地熱発電所新設を目指していて、この縁で今回の事業展開を決めた。

建築ストック　1997年着工

No.1658

一覧の見方
物件名　発注者(住所、代表者)
①施工者(工事請負額)②設計者
③建設地④規模⑤工期

日胆地区

―民　間―

ニコルハイツ緑町弐番館新築　日興開発（札幌市白石区菊水9―3―5―19、斉藤幸也）①地崎工業②三輪設計③苫小牧市緑町2―23―9④RC造9階一部7階3292㎡、34戸⑤1997年10月～1999年1月

新ホテル新築　ホテルニュー王子（苫小牧市表町2―1―30、石田勝克）①大成建設②大成建設③苫小牧市表町4④RC造一部SRC造地下1地上16階塔屋2階30852㎡、客室約220室⑤1997年10月～1999年4月

門別競馬場スタンド建設　ホッカイドウ競馬振興（門別町本町210―25、郡司啓）①スタンド建設＝伊藤組土建・磯田組JV（6億4500万円）、検量棟ほか建設＝岩倉建設・下神田組JV（4億7000万円）②日本競馬施設③門別町富川駒丘④スタンド＝S造3階1534㎡、検量棟＝S造2階496㎡、宿泊所＝RC造2階759㎡ほか⑤1997年5～10月

日高育成総合施設整備7期研究馬厩舎（きゅうしゃ）新築ほか　日本中央競馬会①大豊建設・丸金佐々木建設JV（6億7000万円）②日本競馬施設③浦河町西舎535―13④W造平屋一部2階567㎡×2棟、W造平屋576㎡ほか⑤1997年7月～1998年7月

日高育成牧場事務所改築ほか　日本中央競馬会①岩倉建設（3億7900万円）②大建設計③浦河町西舎④RC造2階1056㎡⑤1997年9月～1998年7月

日高育成総合施設整備7期研究棟新築　日本中央競馬会①日産建設・鴻池組・中山組JV（11億5500万円）②日本競馬施設③浦河町西舎535―13④

―官　庁―

地方職員共済組合職員住宅室蘭高砂A棟新築　北海道総務部①主体＝藤川建設・内池建設・黒光建設JV（1億9700万円）、電気＝昭和電工（2250万円）、管＝ユニオン建設（3950万円）、建具＝真島家具建具（1220万円）②高岡建築設計③室蘭市高砂町1―38④RC造3階846㎡、12戸⑤1997年3月～1998年3月

室蘭市白鳥大橋記念館新築　室蘭市①主体＝内池建設・東海建設・田渕建設・古川建設JV（3億1080万円）、電気＝大同電設・耕電設JV（6450万円）、空調＝栗林商会・共伸機工JV（8350万円）、衛生＝佐藤設備（3060万円）、情報機器設置＝ニッテツ北海道制御システム（3640万円）②大建設計③室蘭市祝津町4―16④RC造2階1498㎡⑤1997年6月～1998年3月

母恋南団地改良住宅建て替え　室蘭市①主体＝神尾組・越後建設JV（8360万円）、電気＝むらでん（1048万円）、衛生＝ユニオン建設（1585万円）、ガス＝室蘭ガス（368万円）②主体＝市建築課、構造・設備設計＝大友建築設計③室蘭市母恋南町4―6④RC造3階512㎡、6戸⑤1997年10月～1998年7月

室蘭清水丘高改築　北海道①主体1工区＝北興工業・大内建設・田渕建設JV（3億3200万円）、同2工区＝藤川建設・内池建設・生田建設JV（5億5000万円）、電気その1＝大同電設・創成電機・鉄和電設JV（4720万円）、同その2＝耕電設・大誠電機・日照電気JV（4355万円）、暖房＝ユニオン建設・共伸機工JV（1億3200万円）、衛生＝三栄設備・高橋衛生JV（1億300万円）②環境設計・ホクテイ建築・田上建築制作JV③室蘭市増市町2④1工区＝RC造2階994㎡、2工区＝RC造5階3040㎡⑤1997年10月～1999年3月

ここに掲載されるストック情報は、その物件が着工した時期に、当時の北海道建設新聞に掲載された記事を再掲載したものです。従って、物件、施主、施工者、設計者の名称や、建設地の住所表示、規模は当時のままです。すでに取り壊した物件があったり、名称、住所などが現在のものとは

日本グランデ

新太平洋建設で着工

真駒内の分譲MS新築

日本グランデ（札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長）は、分譲マンションのグランファーレ真駒内グランフォレスト新築を主体、設備一括で新太平洋建設に依頼し、着工した。2024年3月末の完成を目指す。

RC造、4階、延べ3206平方㍍の規模。1LDK3戸、2LDK10戸、3LDK15戸、4LDK7戸の計35戸を整備する。エレベーターは2基、駐車場は30台分を設置する。

共用施設としてシアター&カラオケルーム、屋上庭園、フィットネスジム、テレワークルーム、ピットインガレージなどを配置する。設計は自社で担った。

建設地は札幌市南区真駒内緑町1丁目1の6の敷地2036平方㍍。真駒内通に面し、周辺はマンションが多く、地下鉄南北線真駒内駅が徒歩圏だ。

ホタテ玉冷加工場2期

戸田・渡辺組JVが落札

湧別漁協が結果9件公表

【北見】湧別漁業協同組合（湧別町曙町9の1、阿部俊彦組合長）は、5月に入札したホタテ玉冷加工場整備第2期工事などの入札結果9件を公表した。ホタテ玉冷加工場整備2期は戸田建設・渡辺組共同体が1回目、13億9000万円（税抜き、以下同）で落札した。

2期は、3月までに完成した加工場（S造、2階、延べ4961平方㍍）新築の継続として配管や内壁などを施工する。工期は2024年2月29日まで。

工事監理は、高田建築設計が1回目、1192万円で落札した。

加工機器の製造ライン関連のうち、原貝処理ラインは1回目、5億円でニッコーが落札。ストレートフリーザーラインは1回目、1億7500万円で前川製作所に決まった。選別・こん包ラインは1回目、1億2600万円で北海道イシダ、加工用水製造設備は1回目、税抜き7330万円でナラサキ産業が落札した。

水産廃棄物処理施設整備に伴う建築は戸田建設・渡辺組共同体が1回目、1億3000万円、プラントはナラサキ産業が2回目、2億5540万円で落札。工事監理は高田建築設計が1回目、496万円で落札した。

参加業者は全て1者ずつだった。

連経道　7月にも専門法人

半導体産業発展を後押し

北海道経済連合会は7月をめどに、半導体産業の発展を通した道内経済の振興を狙う一般社団法人「仮称・北海道新産業創造機構」を立ち上げる。プラットフォームにより、道内金融機関やエネルギー関連企業とともに5社前後で発足する道経連が実質的な事務局となり、道内企業と見込み。千歳市へのラピダス進出を契機に、関連業種の道内誘致、地元企業の関与増加などを後押しする。

機構設立に先駆け、道内の有力経済団体や業界団体を集めた協力組織「次世代半導体産業プラットフォーム」を月内に発足。半導体産業に必要な人材の調査など、個々の案件にいち早く対応する見通しだ。

法人格を持つ機構がラピダスや関係企業・団体との窓口になり、具体案件ではプラットフォーム参加団体が実働する。人材教育面では、北海道経済産業局が主導して2日に創立した官民組織「北海道半導体人材育成等推進協議会」とも連携する。

独自の生成AI提供へ

NEC　森田社長　ビジネス利用想定

NECの森田隆之社長がオンライン形式で時事通信のインタビューに応じ、文章や画像を自動で作成する生成AI（人工知能）について、顧客への提供を視野に「独自AIも含めた研究開発を進めている」と明らかにした。ビジネスで利用できるよう、偽情報の拡散や著作権侵害などのリスクを乗り越えるために「さまざまな技術やサービスの準備をしている」といい、近く生成AIに関するビジネス戦略を公表する方針。

生成AIの開発は米国を中心に急ピッチで進む一方、日本勢は出遅れている。まだ大手企業を中心に利用され始めたばかりで、独自開発を表明したのは日立製作所など一部に限られる。森田社長は生成AIについて「インターネットの登場に匹敵するぐらい、社会のあらゆる所に影響を及ぼす」と指摘し、開発と事業化を急ぐ考えを示した。

NECは5月、社内業務に対話型AI「チャットGPT」の利用を始めた。ノウハウを蓄積して利用範囲を広げるほか、AIを活用した新たな企業向けサービスの種を探る。

森田社長は、同社のビジネスと関わり合いが大きい宇宙・防衛分野に関して「宇宙は経済安保上、必須の領域になってきている」との見方を示した。通信事業などと組み合わせて引き続き研究開発を進める考えで、「しっかりと貢献し、国の要望に応えたい」と述べた。

4カ月連続景気改善

帝国DB札幌調査　5月北海道ブロック

帝国データバンク札幌支店が公表した北海道ブロックの景気動向調査結果によると、2023年5月の景気DI（0―100で示し、50が良い・悪いの分かれ目）は前月比0・8ポイント増の43と4カ月連続で改善した。先行き3カ月後の景気DIは45・9を予測する。

景気DIを業界別に見ると、その他を除く9業界のうち金融、建設、不動産、製造、卸売、運輸・倉庫、サービスが改善。不動産は2カ月連続で上昇し、11カ月ぶりに50を超える水準となった。建設は0・4ポイント増の46・1だった。

農・林・水産、小売は悪化。特に小売は1・8ポイント減の38と下げ幅が最も大きかった。帝国データバンク札幌支店は、人流回復によって飲食店などのDIが改幅広い業界振れ要因景況感は一が続くと分

規模別で・8ポイント増のは0・6小規模企業の42とそ

調査は1頼し、44・536社

2年連続で倒産20件

東京商工道支社調べ　5

東京商工リサーチ北海道支社が発表した202

3年5月の状況によるは20で、同年続けて20た。コロナは緊急融資

―不動産のネットレAnd不動産大oホールデ動産購入に査をまとめの手段としがネット検ラシや口コライン手法ることが分

2022ら23年1月20歳以上の人を対象にション、土傾向をインよるアンケ

情報収集ット検索が%、30代の代の53・6